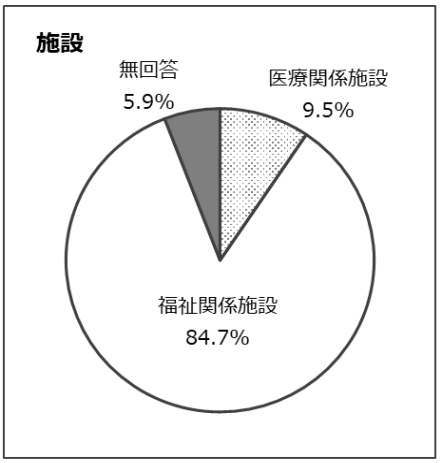
R4年度　福祉施設への出張研修

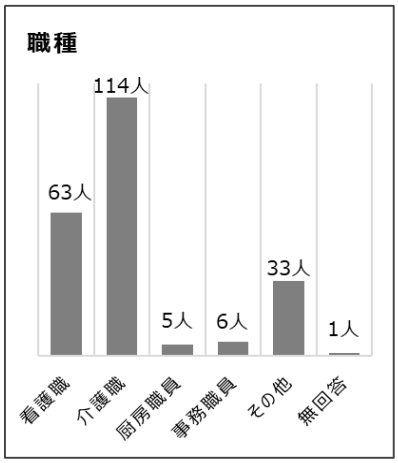
目的：施設で研修会を開催することで多職種間の情報共有ができ、統一した看護・介護ケアを提供できる。また同じ研修を共有すれば指導する看護職の負担軽減ができる。業務改善が図られることで離職防止・定着促進につなげる。

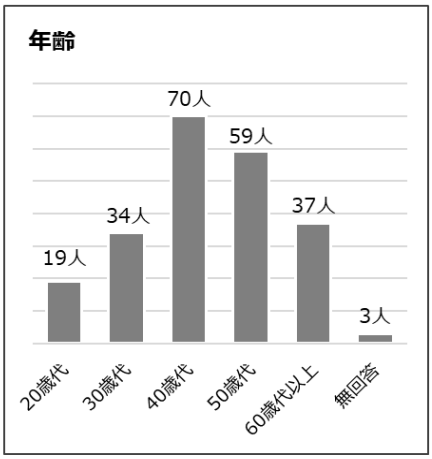
R4年度　福祉施設出張研修一覧

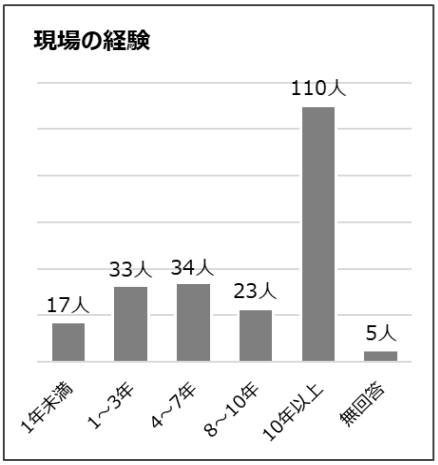
NO.	地区	実施	施設名	実施日	研修テーマ	受講者数
1	県南	DVD送付	特別養護老人ホーム　喜楽苑	7/15(金)	施設における看取り	23
2	県央	オンライン	介護老人保健施設　ガイアの里	8/18(木)	感染予防	15
3	県北	オンライン	訪問看護ステーション　さくらそう	9/6(火)	認知症看護	6
4	離島	対面	介護老人保健施設　グリーンヒルかみごとう	10/1(土)	褥瘡予防・褥瘡対策	23
5	県央	オンライン	社会福祉法人　南高愛隣会	10/21(金)	看取り	12
6	県央	対面	特別養護老人ホーム　湯楽苑	11/9(水)	食事介助	13
7	県央	対面	特別養護老人ホーム　ききつ	11/15(火)	食事介助	8
8	県央	オンライン	養護老人ホーム　聖フランシスコ園	12/7(水)	エンゼルメイク	20
9	県北	オンライン	特別養護老人ホーム　ファミーユ	1/17(火)	フィジカル・急変時の対応	15
10	離島	オンライン	養護老人ホーム　朝海荘	1/19(木)	看取り	11
11	県北	対面	サービス付き高齢者向け住宅　のなか	1/24(火)	コロナ感染予防	8
12	県北	オンライン	特別養護老人ホーム　田平ホーム	2/7(火)	看取り	29
13	県央	オンライン	諫早療育センター	2/14(火)	看取り・エンゼルケア	45

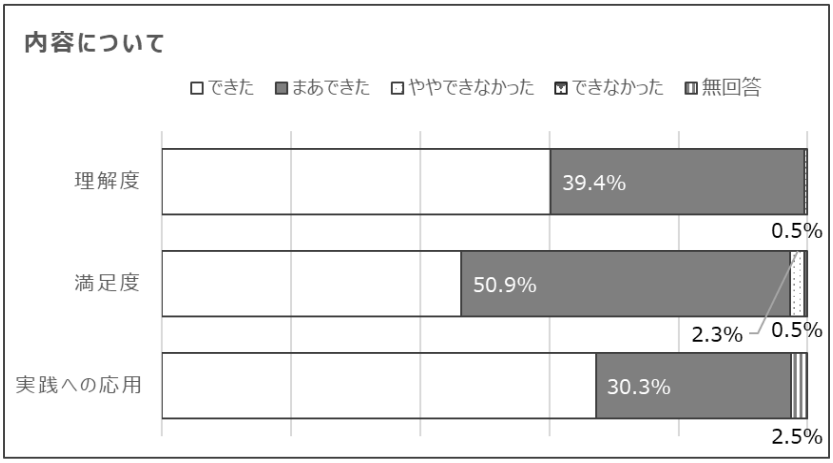
研修後アンケート結果　　11施設	4点満点
研修は看護の提供に効果があった	3.5
受講後他のスタッフの指導に役立てている	3.3
研修参加が施設の看護の質向上につながっている	3.7
研修参加者の意識改革の一助となっている	3.7
自施設の医療に貢献しようとという意欲につながっている	3.4
研修参加は」多少であるが離職防止・定着促進につながっている	2.8
研修受講後　　看護職　　1名　　退職	

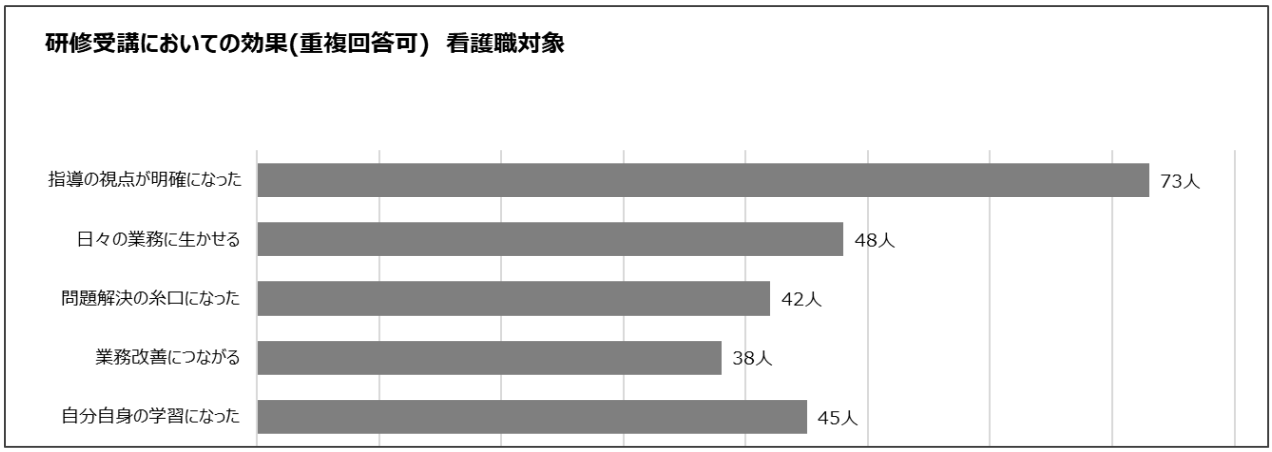

施設
無回答
5.9%
医療関係施設
9.5%
福祉関係施設
84.7%

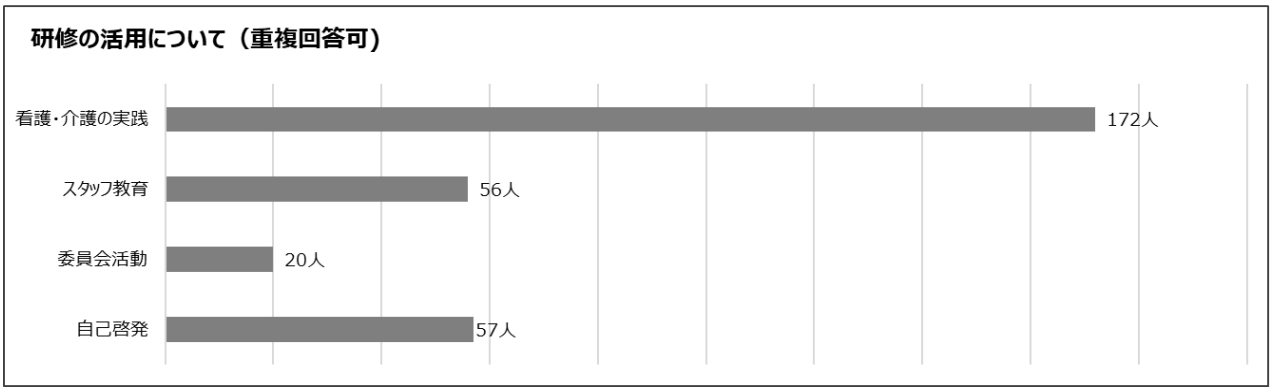

職種
63人
114人
5人
6人
33人
1人
看護職
介護職
厨房職員
事務職員
その他
無回答

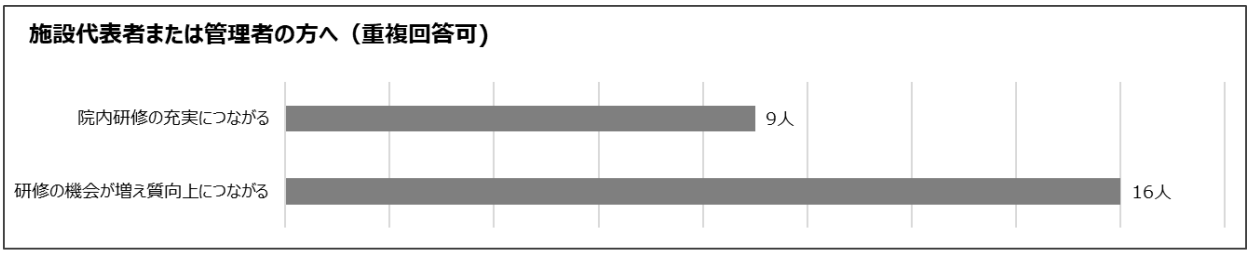

年齢
19人
34人
70人
59人
37人
3人
20歳代
30歳代
40歳代
50歳代
60歳代以上
無回答

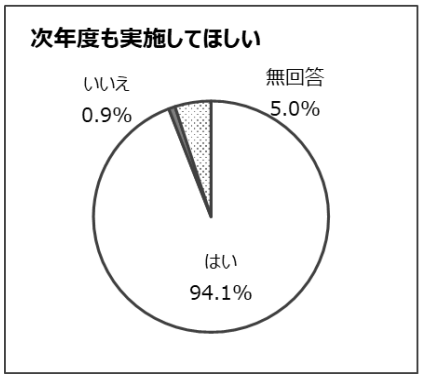

現場の経験
17人
33人
34人
23人
110人
5人
1年未満
1~3年
4~7年
8~10年
10年以上
無回答


内容について
できた
まあできた
ややできなかった
できなかった
無回答
理解度
39.4%
0.5%
満足度
50.9%
2.3%
0.5%
実践への応用
30.3%
2.5%


研修受講においての効果(重複回答可) 看護職対象
指導の視点が明確になった
73人
日々の業務に生かせる
48人
問題解決の糸口になった
42人
業務改善につながる
38人
自分自身の学習になった
45人


研修の活用について（重複回答可）
看護・介護の実践
172人
スタッフ教育
56人
委員会活動
20人
自己啓発
57人





受講者数	228人
回答者数	222人
回答率	97.4%

※割合の合計は四捨五入の関係で100%とならない場合もあります。

施設別

特別養護老人ホーム	5
介護老人保健施設	2
養護老人ホーム	2
サービス付き高齢者向け住宅	1
社会福祉法人　南高愛隣会	1
訪問看護ステーション	1
療育センター	1

地区別

県南	県央	県北	離島	計
1	6	4	2	13

研修評価

看護職の参加は全体の30％程度である。 受講後指導の視点が明確になった、日々の業務に活かせるとの回答が多かった。参加者全体では実践への活用が56％・スタッフへの教育に役立ったが20％程度だった。 管理者からは研修で施設全体の質の向上につながっているとの回答が多かった。 研修後のアンケートからは研修参加者の意識の向上や・質の向上に寄与しているの平均点が高かった。 一方　離職防止や定着促進に研修は大きく影響しているとの平均点は2.8点 離職防止や定着促進につながる研修内容の質問に対し、看護介護についての知識・技術の習得（9）・介護・在宅での看護の魅力を知る研修（6）だった。